

= 年表：静岡市消費者協会の主な活動 =

年月日	主な活動
1973年(昭和48年)	・協会設立 ・正月用品試買調査開始(～1983年)新聞発表、まとめ作成
1974年(昭和49年)	・公共金値上げ反対運動(電気、ガス、水道、バス料金など)開始 (延べ7回実施、各事業所に申し入れ)
1978年(昭和53年)	・生活用品活用バンク開設 現在も継続中(28年目)
1979年(昭和54年)	・省包装要望書等、大型店に提出と会員への呼びかけ
1980年(昭和55年)	・家庭内における省電力実践研究会「省電力交流会」主催
1981年(昭和56年)	・トレイパック廃止運動スタート ～91年。スーパーマーケット協会との懇談会実施
1982年(昭和57年)	・物価、添加物、食などへの問題啓発と粉せっけん利用促進等の運動をすすめる。 ・啓発運動の一環として、行政からの委託事業「消費生活展」開催開始 毎年継続開催
1989年(平成元年)	・消費税導入反対学習会(市内2ヶ所、各団体に開催)
1990年(平成2年)	・「しずおかの環境のために努力しているお店調査」スタート ～2000年。まとめ冊子発行。 ・調査結果に基づく業者との懇談会、推奨シールの発行
1992年(平成4年)	・環境プロジェクト調査結果冊子の発行
1993年(平成5年)	・古紙・牛乳パック回収要望書提出 行政から町内会へ委託回収が始まる。
1998年(平成10年)	・静岡市消費者協会25周年記念イベント開催 環境マンガ博・パネル展(来場者約2,000人)
1999年(平成11年)	・「マイバッグキャンペーン」スタート ・環境にやさしい消費者セミナー出展
2000年(平成12年)	・「しずおかエコチケット」スタート 平成16年12月で終了 (エコチケット2006年3月現在 63,387枚) ・講演会「ドイツごみ物語」開催：参加者100名 ・オリジナル買物袋の作成販売 3,637枚売り上げ) ・朝市フォーラム開催：参加者130名
2001年(平成13年)	・「グリーンコンシューマーガイドしずおか」発行(1000部、完売) ・生消費言クラブスタート(生産者、消費者、行政、で組織した地産地消推進のためのクラブ。年間10回以上の交流会開催) ・「全国マイバッグフォーラム in 静岡」開催(マイバッグ先進事例発表、マイバッグ川柳6,600首、マイバッグ宣言)参加者：全国から630名 ・マイバッグオリジナルソング作成(ごみ収集時に流し啓発) ・アース基金協会より表彰(グリーンコンシューマーガイドしずおか発行による活動に対して)

年月日	主な活動
2002年(平成14年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「毎日5日はマイバッグデー」スタート(キャラバン隊約100名による市内5ヶ所一斉キャンペーン) ・マイバッグデー推進委員会スタート 市民(町内会・PTA連絡会・消費者協会)、事業者(スーパーマーケット協会・商工会議所・商店会連盟)、行政(環境政策課・廃棄物政策課・市民生活課・商業労政課)の三者が一体となって活動。 ・グリーンコンシューマー講座スタート(年間10回:一般市民向け) ・「元気なゴミ仲間大賞」奨励賞受賞(マイバッグ活動に対して) ・食品表示実態調査実施 ・第1回買物袋持参路津調査開始(市内ｽｰﾊﾟｰ20店舗開店～閉店まで調査:持参率7.6%)
2003年(平成15年)	<ul style="list-style-type: none"> ・30周年記念講演会&ユズリンコンサート(来場者:500人) ・第2回買物袋持参率調査(持参率9.8%) ・県内一斉マイバックキャンペーン実施(全国4ヶ所合同、県内19市町で実施) ・消費税実態調査(要望書提出) ・清水市でも「マイバッグデー」スタート
2004年(平成16年)	<ul style="list-style-type: none"> ・政令指定都市移行に伴い、旧清水市消費者グループ連絡会と合併 名称変更 しずおか市消費者協会 「くらしの中の4つの運動(4R)推進委員会」スタート(マイバッグデー推進委員会の組織編制見直し) ・消費者が選ぶお店推薦マーク贈呈(静岡市商店会連盟加盟16商店街調査より15店舗)
2005年(平成17年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量に関する3つの調査実施(市民1,500名によるゴミ減量可能性調査・協会員100名によるごみ分別徹底調査・親子20組によるワンウェイ容器使用実態調査/まとめ冊子作成) ・くらしの中の4つの運動(4R)推進委員会2年目 ・しずおかエネルギーフォーラム開催(記念講演会、大学抵抗ディベート合戦=レジ袋の有料化に賛成?反対?=)来場者約260名 ・生消費言フォーラム開催(来場者:50名) ・旧蒲原町との合併に伴い、蒲原町消費者グループが合流(現在16グループ 約500名)

表4 県内での不法投棄物回収状況【速報値】(平成13～17年度2期分)(単位:台)

品目	エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機	4品目合計	備考
13年度1期(4月～6月)	91	511	193	155	950	
13年度2期(7月～9月)	44	350	109	76	579	
13年度3期(10月～12月)	46	357	114	79	596	
13年度4期(1月～3月)	46	475	128	111	760	
13年度計	227	1,693	544	421	2,885	
14年度1期(4月～6月)	47	436	141	113	737	対⑬ 78%
14年度2期(7月～9月)	44	329	113	87	573	99%
14年度3期(10月～12月)	63	387	112	95	657	110%
14年度4期(1月～3月)	56	588	164	152	960	126%
14年度計	210	1,740	530	447	2,927	101%
15年度1期(4月～6月)	42	499	158	152	851	対⑬ 90%
15年度2期(7月～9月)	64	482	180	158	884	153%
15年度3期(10月～12月)	72	469	139	110	790	133%
15年度4期(1月～3月)	74	690	185	169	1,118	147%
15年度計	252	2,140	662	589	3,643	126%
16年度1期(4月～6月)	46	400	142	130	718	対⑬ 76%
16年度2期(7月～9月)	59	421	159	157	796	137%
16年度3期(10月～12月)	65	469	174	111	819	137%
16年度4期(1月～3月)	66	548	182	170	966	127%
16年度計	236	1,838	657	568	3,299	114%
17年度1期(4月～6月)	48	476	164	148	836	対⑬ 113%
17年度2期(7月～9月)	49	340	135	104	628	110%
17年度3期(10月～12月)	38	274	119	116	547	83%
17年度4期(1月～3月)	41	401	128	89	659	69%
17年度計	176	1,491	546	457	2,670	91%

※平成13年4月に把握されたものには、一部3月以前に不法投棄されたものを含む。

静岡市くらしの中の4つの運動(4R)推進委員会

★事業者

静岡大型店・スーパーマーケット協会
静岡商工会議所・清水商工会議所
静岡商店会連盟、清水商店街連盟

消費者

★消費者

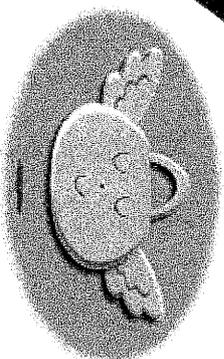
しずおか市消費者協会
静岡市静岡地域連合町内会
静岡市清水自治会連合会
静岡市PTA連絡協議会

★行政

環境政策課
廃棄物政策課
経済政策課
市民生活課
生活安全課

事業者

行政



行政が主体ではなく、消費者協会が積極的に行政・事業者にアプローチし、立ち上げました。

= 「家電リサイクル法」に関するアンケート集計結果 =

1 調査日 平成 18 年 7 月 15 日 ~ 7 月 25 日

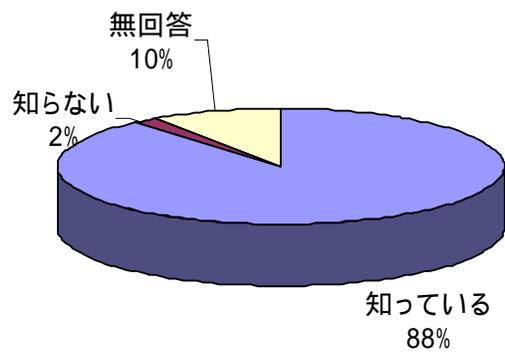
2 回答数 105人 内訳

男性	51人	女性	54人
----	-----	----	-----

3 年代

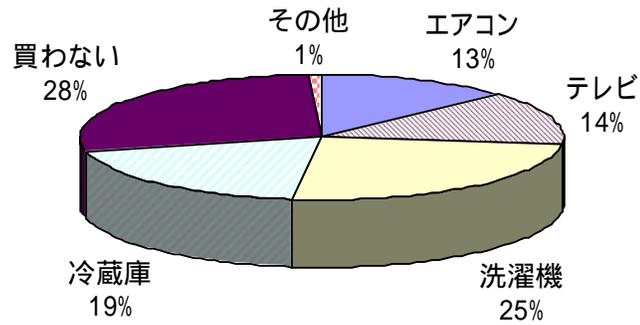
年代	人数
20代	9人
30代	15人
40代	19人
50代	33人
60代以上	29人

4 家電リサイクル法を知っていますか？



知っている	93人
知らない	2人
無回答	10人

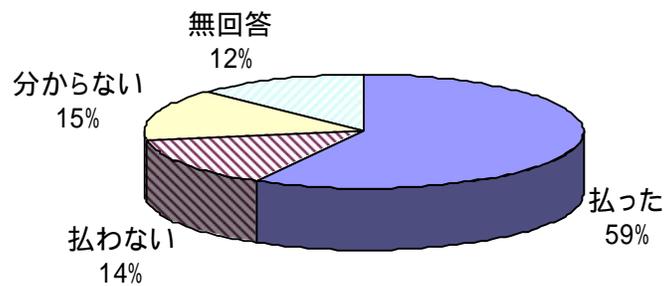
5 5年間の間に買い換えた家電製品は？（複数回答）



製品名	回答数
エアコン	14人
テレビ	15人
洗濯機	27人
冷蔵庫	21人
買わない	30人
その他	1人

*費用を考えて導入前に4品買い換えた

6 リサイクル料金を払いましたか？



払った	61人
払わない	15人
分からない	16人
無回答	13人

7 リサイクル料金をいくら払いましたか？（リサイクル料金プラス運搬料金）

製品名 (規程料金)	金額 / 人数	金額 / 人数	金額 / 人数	金額 / 人数	金額 / 人数
エアコン (3,500 円)	3,675 円 / 1 人	4,000 円 / 2 人	5,000 円 / 3 人	8,000 円 / 4 人	8,000 円 / 4 人
テレビ (2,700 円)	3,200 円 / 8 人	4,000 円 / 1 人	5,000 円 / 14 人	6,000 円 / 3 人	6,000 円 / 3 人
洗濯機 (2,400 円)	2,520 円 / 2 人	3,000 円 / 5 人	4,000 円 / 1 人	5,000 円 / 11 人	6,50 円 / 1 人
冷蔵庫 (4,600 円)	4,725 円 / 1 人	5,000 円 / 7 人	7,000 円 / 4 人	7,500 円 / 3 人	8,000 円 / 1 人

8 リサイクル料金の支払い（前払いか後払い）についてどう思いますか？

1) 料金について

- 買う時にリサイクル料金として請求されたほうが良い（8 人）
- 法律で決められているので仕方が無いが、金額が高すぎる（6 人）
- 中古品の購入、処分について、リサイクル料金がどうなるか分からない（1 人）
- リサイクル料金も含めた価格設定にしたほうが良い（3 人）

2) 支払い方について

- 前払いの方が良い
- {不法投棄が増えるから。廃棄やリサイクルに要する費用が変動するから}（22 人）
- 現状では購入時に支払うのがベターだと思うが、メーカー負担が当然（7 人）
- 生産者責任が感じられない。メーカーだけに配慮して消費者への配慮が無い（4 人）
- 買う時に上乗せして支払うのが良い{デポジット制}（5 人）
- 現行どおりで良い（4 人）
- 前払いでも後払いでも同じ。
- 廃棄時に支払うと、まだ使用できるのに大型家電に買い替えている人が減るだろう（1 人）
- 電化製品が買いやすくなった（1 人）

9 その他の意見

- 家電リサイクル法を、もっとポスター等で知らせること（20 人）
- リサイクル料金の行方についての取り締まりを強化する{本当に費用が必要と思えるかどうかを支払う、支払わない、の分かれ目になるから}（5 人）
- 販売店の店頭で商品価格とリサイクル料金を区別して表示してほしい（5 人）
- リサイクル料金をもう少し下げてほしい（3 人）
- 不法投棄をしないよう、購入時に事業者からしっかり説明する（3 人）

この法律によってリサイクルの現状が分かると、費用負担についても納得できる（2人）
リサイクル料金を見直してほしい（1人）
拡大生産者責任を明確にする（1人）
不法投棄による環境破壊について知らせる（2人）
リサイクル料金にプラス何らかの税金を上乗せして消費者の意識を促す{リサイクルは現実的には不可能に近い}（2人）
現在の料金後払いは、消費者への負担が大きすぎる（1人）
家電販売店同士の競争から無料引き取り合戦などが発生し、リサイクルのための費用が正しく支払われていないことを行政がしっかり国民に知らせる（1人）
リサイクル実績の公表（1人）
消費者の負担が大きくなると関心を持つ人が増えるので良い事だが、金額が高くなることには反対（1人）
ライフサイクルアセスメントを理解してもらうような働きかけが大切（1人）

= アンケート結果からの考察 =

リサイクル料金の支払い方について

- ・ 現行のままで良いという少数意見もあったが、「購入時に支払う」という意見が圧倒的に多かった。その理由として、廃棄時に支払うことへの抵抗感が不法投棄に繋がるのではないかと感じている人が多いと分かった。事実、不法投棄の事例は多い。団体や市民によるパトロール強化などの活動による効果もあり、廃棄量の減少も見られるが、無くなるには程遠いのが実態。
- ・ リサイクル料金を末端ユーザーに直接支払わせるということは、生産者の責任が全く感じられない。拡大生産者責任も含め、もっと事業者の責任を明確にすべき。
- ・ リサイクル料金の行方について取り締まりを強化すると共に、現在のリサイクルの現状について情報を積極的に公開して欲しい。
- ・ メーカー各社のリサイクル実績を、どう公表していくか等が今後の課題。

リサイクル料金について

- ・ リサイクル料金プラス運搬費の金額が、購入店によって差が大きすぎる。
- ・ リサイクル料金を店内にわかりやすく表示すること。
- ・ リサイクル料金が本当に適切かどうかの見直し。

= 会員の体験談 =

42Lの冷蔵庫を購入し、使用済みの冷蔵庫にはリサイクル料金として7,000円支払った。リサイクル料金は4,600円なのに、2,400円も余分に支払った。内訳がはっきりわからないので、すごく損をした感じがした。(平成17年12月3日：小売店)

冷蔵庫を購入し、使用済みの冷蔵庫にはリサイクル料金として6,000円支払った。20Lの小さな冷蔵庫なのに、運賃1,400円もかかるのはおかしい気がする。本当にリサイクルされているのかも疑問に思った。(平成16年8月29日：リサイクル業者)

量販店で冷蔵庫を購入した。廃棄する際の運搬費は何を買っても一律500円だった。なぜ運搬費が変わらないのか疑問に思った。(平成17年8月1日)

郵便局でリサイクル票を貰い、冷蔵庫を自分でゴミの集積場に持っていった。4種類の家電製品が山積みされていて、本当にリサイクルされるのか心配になった。(平成15年12月頃)

デジタルテレビを量販店で購入した。「下取り価格は無料サービスします！」という店員に言われ、リサイクル料金が無料だと思った。運搬費も含め支払っているのか、しっかりレシートで確認しなかったが、販売員のセールストークがまぎらわしいと思った。(平成17年9月頃：量販店)

